PRESS RELEASE ｜ 報道関係者各位

2026 年 10 月吉日

尾道市医師会　／　JA 尾道総合病院　／　向島ドック株式会社

世界膵がんデー2026　パープルライトアップ in 尾道

尾道の夜空を紫色に。

膵がんの早期発見と患者支援を呼びかけ

11 月 16 日～19 日、向島ドックのクレーンをライトアップ

医師会・病院・地元企業の三者が連携

尾道市医師会、JA 尾道総合病院、向島ドック株式会社の三者は、11 月 19 日（木）の「世界膵がんデー」に合わせ、2026 年 11 月 16 日（月）から 19 日（木）まで、向島ドック株式会社が所有するクレーンを膵がん啓発のシンボルカラーである紫色にライトアップします。尾道市内では初めてとなる本企画を通じて、膵がんの早期発見の重要性を伝えるとともに、患者さんとご家族への理解・支援の輪を広げます。

■ 実施概要

名称	世界膵がんデー2026 パープルライトアップ in 尾道
実施主体	尾道市医師会／JA 尾道総合病院／向島ドック株式会社
期間	2026 年 11 月 16 日（月）～11 月 19 日（木）
会場・時間	向島ドック株式会社　所有クレーン：日没～22 時
関連企画	JA 尾道総合病院 正面玄関看板のパープルライトアップ 11 月 19 日（木）18 時～19 時（予定）

■ 企画の背景

膵がんは早期には自覚症状が乏しく、発見時に進行している場合も多い難治性のがんです。一方、早期に発見し適切な治療につなげることが、治療成績の改善に重要です。世界膵がんデーには、各地で紫色を用いた啓発活動が行われています。

尾道市医師会と JA 尾道総合病院は、2007 年から約 20 年にわたり、診療所と中核病院が連携する「尾道方式」による膵がん早期診断に取り組んできました。今回、地元企業の協力を得て、医療の現場から地域の暮らしへと啓発の輪を広げます。

■ 尾道から発信するメッセージ

尾道の海辺の景観を特徴づけるクレーンを紫色に照らすことで、市民の皆様が膵がんについて知り、ご自身や大切な方の健康について考えるきっかけとなることを願っています。今回の取り組みは、膵がん患者さんとご家族に寄り添い、地域全体で支える意思を示すものでもあります。

■ 「尾道方式」について

地域の診療所で膵がんの危険因子や膵臓の異常を把握し、必要に応じて中核病院で MRI・MRCP や超音波内視鏡（EUS）などの精密検査につなぐ、病診連携による早期診断の取り組みです。尾道市医師会と JA 尾道総合病院が 2007 年から継続し、早期診断例の増加や生存率の改善につなげてきました。

■ 報道関係者の皆様へ

ライトアップ期間中の撮影・取材をご検討いただけますと幸いです。撮影場所や取材方法については、安全確保の観点から事前にご相談ください。

■ お問い合わせ先

JA 尾道総合病院：副院長　花田敬士

TEL:0848-22-8111　E-mail:k.hanada@onomichi-gh.jp

向島ドック株式会社：管理部　広報・採用課　灰谷利恵

TEL:0848-44-0001　Email: recruit@dock.co.jp